

本音のコロナ



米山知事の在任時に始まった健康影響の検証委員会(2017年9月、新潟県庁で

旭川医大の吉田晃敏学

長は昨年十一月、クラスターが発生した吉田病院

からのコロナ患者の受け入れを拒否し、派遣していた非常勤医を一斉に引

き揚げたという。同大の古川博之病院長は患者を

受け入れよと、吉田学長は「受け入れてもい

いをすためにはあの病院が完全になくなるしか

ない」などとも発言。一月二十五日には学内情報

の外部漏洩などの理由で古川病院長を解任した。旭川医大のこの状況は

不幸である。学長の責任は厳しく問うべきだ。

一方、東京医科歯科大の田中雄二郎学長は、昨年三月以来「世のため人のためやるしかない」と、延べ約千六百人のコロナ患者を受け入れてきた。丁寧な情報共有をしつつ「力を合わせて患者さんど仲間をコロナから守ろう」「試行錯誤を大前川喜平

まえかわ 前川喜平

り応援しよう」と呼びかけ、職員のことを一にし

てきた。「コロナ基金」には、すでに一億三千万

円が集まった。他の病院との信頼関係も築いた。

田中学長の人徳によるものだ。彼のホームペー

ジで卒業生のメッセージを讀むと、彼がいかに慕

われているかが分かる。東京医科歯科大学に田中学長がいることは、東京都民の僥倖である。こ

ういつ友を持つことは、僕の喜びである。(現代教育行政研究会代表)

2021.1.31

国民・飲強しながらの街に繰り何事か。そんな庶をつけたの

『週潮』と正確に言えのタイリ

スピード、その速報で、党の松本純

委員長と、清彦・前財

座のクラ座の事実

だ。二十九役職を辞任

明。犠牲を満を募ら丹

テイリしい報道

二十八日発潮』2月4

側近『松本「イタリヤ味」で詳細

「前矢

技術委と健康影響検証委も、報告書がまとまったの原発事故の検証に限って